

# 野辺西3選手 健闘誓う



## 全国総体出場 町長に報告

野辺地

6月に福島県で行われた東北高校選手権のレスリング女子57キ級で優勝した鈴木愛彩選手、東北町から全

国高校総体に出場する野辺地西高校3年生の3人が20日、野辺地町役場を訪れ、野村秀雄町長に活躍を報告するとともに、大舞台での健闘を誓った。

野村町長(左)に全国高校総体での健闘を誓った加我(左から2人目)、鈴木(左から3人目)、甲田(右)の3選手

同町役場を訪れたのは鈴木選手のほか、県高校総体レスリング男子92キ級個人フリースタイルと同グレコローマン優勝の加我虎雅選手、むつ市、同総体の空手道男子個人組手で優勝した甲田慎之介選手、三沢市、空手道部監督でもある迫祐子教頭と、濱中和宏レスリング部監督。

3選手は8月、福井県や富山県で行われる全国高校総体の試合に臨む。鈴木選手は「支えてくれる人に感謝し、一試合一試合戦う」、加我選手は「応援してくれる人のために、いい成績を出したい」、甲田選手は「一戦一戦、冷静に戦う」と抱負を述べた。

野村町長は「力を出し切り、野辺地の名を全国に知らしめてほしい」と激励した。

(兼平昌寛)